

財務報告

2009 年度決算

損益計算書 2009年4月1日～2010年3月31日

科目	2009 年度決算	2009 年度予算	達成率
I 経常収入			
1 IT 事業	4,792	5,790	83%
2 サポーター事業	5,189	3,942	132%
3 スタディーツアー事業	163	144	113%
4 日本事務局	353	171	206%
5 コミュニティファクトリー事業	341	200	171%
6 その他(為替損益・雑収入等)	68	0	-
経常収入合計	10,905	10,247	106%
II 経常支出			
1 IT 事業	3,989	4,320	92%
2 サポーター事業	1,933	1,772	109%
3 スタディーツアー事業	134	109	123%
4 日本事務局	2,579	2,016	128%
5 カンボジア事務局	838	862	97%
6 コミュニティファクトリー事業	1,598	1,112	144%
7 警察訓練支援	132	0	-
8 孤児院支援	123	0	-
9 その他(為替差損・雑損失等)	142	0	-
経常支出合計	11,467	10,191	113%
経常収支差額	-562	56	
III その他資金収入	0		
IV その他資金支出(法人税等)	34		
当期収支差額	-595		
前期繰越収支差額	3,762		
次期繰越収支差額	3,167		

貸借対照表 2010年3月31日時点

科目	金額	科目	金額
I 資産		II 負債	
1 流動資産		流動負債	
現金	85	未払金	564
預金	1,760	預り金	148
売掛金	1,374	流動負債合計	712
受取手形	140	III 正味財産	
その他	68	資本金	50
流動資産合計	3,427	前期繰越正味財産	3,291
2 固定資産		当期正味財産減少額	595
建物	37	利益準備金	421
車両運搬具	4	正味財産合計	3,167
工具備品	0	負債および正味財産合計	3,879
差入保証金	411		
固定資産合計	452		
資産合計	3,879		

* 建物はカンボジアのコミュニティファクトリー、差入保証金は日本事務所敷金礼金です

収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO 法人かものはしプロジェクトの収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。

監事

宇野雅幸

2010年5月31日

2010 年度予算

2010年4月1日～2011年3月31日

科目	2010 年度予算	2009 年度決算	増減率
I 経常収入			
1 IT 事業	4,673	4,792	98%
2 サポーター事業及び日本事務局	6,169	5,542	111%
3 スタディーツアー事業	108	163	66%
4 コミュニティファクトリー事業	425	341	125%
5 その他(為替差益、雑収入等)	-	68	-
経常収入合計	11,376	10,905	104%
II 経常支出			
1 IT 事業	3,240	3,989	81%
2 サポーター事業	1,691	1,933	87%
3 スタディーツアー事業	104	134	77%
4 日本事務局	2,747	2,579	107%
5 カンボジア事務局	652	838	78%
6 コミュニティファクトリー事業	1,686	1,598	106%
7 警察訓練支援	382	132	290%
8 孤児院支援	350	123	285%
9 その他(消費税、為替差損等)	-	142	-
経常支出合計	10,851	11,467	95%
経常収支差額	525	-562	-

* このほか、法人税・消費税が約 200 万円見込まれます

財務に関する分析

2009 年度決算

創設以来初めての赤字となった。その要因としては、収入が計画比 650 万円増加、支出が計画比 1,300 万円増加したことにある。収入に関しては、IT 事業が不況のため 1,000 万円の減収であったが、サポーター事業が 1,250 万円の増収であった。一方、支出は警察訓練支援、孤児院支援へ予算以上の支出を決定したこと、法定福利など予算に計上漏れがあったことによる。事業規模が拡大する中で、財務・経理管理を適切に行うことが、今後の課題である。

これまで IT 事業が全ての事業を支えてきたが、2009 年度はサポーター事業が IT 事業と同程度の規模まで成長し、より財務が安定した。その結果、2009 年度も苦しみながらも必要な事業費を調達し、ミッションに向けて前に進むことができた。

2010 年度予算

全体の事業規模は 1 億 1 千万円である。IT 事業は新しい方向性への投資のため、売上を抑えて計上している。コミュニティファクトリー事業に関しては 2012 年度に売上高 1,200 万円規模に拡大させ、黒字化を目指している。

警察訓練支援、孤児院支援についてはそれぞれ 400 万円弱の事業支出を予定している。

* 10,000 円未満は四捨五入しているため、数字の合計が若干一致しません